



テュートリアル課題 何か悪い病気かしら

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2008
号	B4
発行年	2008-12-02
URL	http://hdl.handle.net/10470/29126

2008年度 Block 4

課題 No.7

「何か悪い病気かしら」



図で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

高村 悦子（眼科学）

課題シート

2008-B4-T2-7

シート1

何か悪い病気かしら

主婦の芳江さん（65歳）は、最近、外出先で知人に会っても、近くに来るまでその人の顔がはっきり見えず、ご挨拶が遅れてしまうことが気になっています。若い頃は視力がよいことが自慢でしたが、40歳ころから目が疲れやすくなり、読書や細かい作業を行うときには老眼鏡をかけるようになりました。クラス会で、「まだそんな年齢じゃないのにね。」と笑われたのを思い出します。

提示資料

課題シート

2008-B4-T2-7

シート2

何か悪い病気かしら

ある日、突然右目の奥に鈍痛を感じました。このところ何となく調子が悪かったので、少し休めばよくなると思い様子を見ていましたが、夕食の支度をするころには、右目がかすんで、キッチンの蛍光灯のあかりもにじんで見えます。右目の痛みは前よりひどくなり頭まで痛くなりました。その上、吐き気もします。何か悪い病気かしら、と心配になった芳江さんは総合病院の救急外来を受診しました。

当直を担当していた内科医が診察して下さることになりました。

提示資料

資料① 頭部CT検査

資料② 内科救急外来カルテ

課題シート

2008-B4-T2-7

シート3

何か悪い病気かしら

診察の結果、頭の中には異常はなさそうです。右目の充血があるので、眼科の受診をすすめられました。
眼科医は私の目をのぞきこむとすぐに簡単な検査をし、その結果、緊急に治療をする必要があるとおっしゃいました。どんなことをするのでしょうか、不安です。

提示資料

資料③（眼科所見プリント）

資料④ 細隙灯顕微鏡所見（写真）

課題シート

2008-B4-T2-7

シート4

何か悪い病気かしら

救急外来での緊急治療を終えた芳江さんは、数日後、眼科外来を再診し精密検査を受けました。かすみや痛みはなくなったので、もう心配ないわ、と思っていました。しかし、医師からは左目も同じようなことがおこる危険性があることと、他科でもらう飲み薬で気をつけなければならないものがあるといわれました。左眼は将来的に予防的な治療が必要であるとも言われており、まだまだ気が抜けません。

提示資料

- 資料⑤ 眼科検査所見
- 資料⑥ 細隙灯顕微鏡検査
- 資料⑦ 眼底検査
- 資料⑧ 視野検査